

新型コロナワクチン接種について

☎ 健康づくり課(新型コロナ対策班) (☎ 581・2121内線213)

4回目接種対象者について

4月28日に国の専門家会議が行われ、4回目接種対象者が決定しました。4回目接種では、すべての方を対象とせず、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高い方を対象としています。

▶ 4回目接種対象者

対象者	接種券	送付時期
60歳以上の方	3回目接種から、5カ月経過したすべての方に送付	3回目接種から5カ月経過した時期に送付
18歳～59歳の方	基礎疾患を有する方 その他新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認めた方	
	接種希望者から電子申請またはコールセンターによる事前申請が必要※	

※4月30日までに3回目接種済みの18歳～59歳の方に、4回目接種についての案内はがきを送付しています。基礎疾患を有する方等に該当する方は、4回目接種の事前申請をしてください。

▶ 使用するワクチン

ファイザー社ワクチン、武田/モデルナ社ワクチン

▶ 接種会場・予約方法

接種券に同封の案内通知をご覧ください。

3回目接種までの接種間隔が5カ月に短縮されました

5月25日から、2回目接種と3回目接種の接種間隔が、6カ月から5カ月に変更となりました。6月以降、2回目接種から5カ月経過した方に3回目接種の接種券を送付します。

12歳～17歳の方を対象に集団接種を実施します！

12歳～17歳の方を対象に夜間の集団接種を実施します。12歳～17歳の方のワクチン接種率(3回目接種)は、ほかの年代の方と比べ低い状況です。この機会に3回目接種についてご検討ください。

- ▶ 日時/6月17日(金)午後6時15分～8時30分
- ▶ 使用するワクチン/ファイザー社ワクチン
- ▶ 予約方法/インターネットおよびコールセンターで受け付けています。

● インターネット予約

接種券に同封の案内通知をご覧ください。

● 寄居町ワクチン予約専用コールセンター

☎ 0120-305-826 (フリーダイヤル)

受付時間 午前9時～午後4時30分(平日のみ)



参加者募集中！ よろいプラス1000歩運動

(埼玉県コバトン健康マイレージ)

町では「一人ひとりが健康づくり 笑顔でいきいき健康長寿のまち よろい」を健康長寿計画の基本理念に掲げています。毎日の運動習慣を持つ方が増加し、健康長寿が図られるよう「よろいプラス1000歩運動」を実施しています。

新型コロナウイルスの影響で外出の機会が減り、運動の機会も減っていませんか。感染予防の一つとして、ウイルスから身を守る免疫力を上げることが重要です。運動することで免疫力を上げ、ウイルスに負けないカラダづくりに励みましょう。皆さんのご参加をお待ちしています。

プラス1000歩運動って？

自身の平均歩数に1000歩プラスした目標歩数を設定し、達成できるよう活動量計を持って歩く運動です。毎日10日ごろまでに、活動量計を読み取り器にかざして歩数を記録します。

- ▶ 対象/町内在住・在勤の20歳以上の方
※他市町村で実施している埼玉県コバトン健康マイレージに参加の方は参加できません。

▶ 定員/50人

▶ 費用/無料

※活動量計を紛失・破損した場合は7,000円程度の実費負担となります。

▶ 読み取り器設置場所

設置場所	受付時間
① 役場1階福祉課窓口	8:30～17:15
② 保健福祉総合センター	
③ 町立図書館	9:30～19:00(火～金曜日) 9:30～18:00(土・日曜日、祝日)
④ 男衾・用土両連絡所	8:30～17:00

※①・②・④は、土・日曜日、祝日を除く。

※③の休館日は、本誌29頁の図書館をご覧ください。

継続参加の方

新たな手続きは不要です。お持ちの活動量計を引き続き使用して、取り組みを続けてください。体調等の事情で継続が難しい場合はご連絡ください。参加を辞退する場合、活動量計は返却していただきます。

☎ 健康づくり課 (☎ 581・2121内線211・212)

伊藤さんが手がける魅力発信
みかん七味

令和3年、風布館との共同事業として「みかん七味」を販売しました。風布地区で昔からつくられていたみかん七味をベースに、地元みかん農家の方にご協力いただきながら、オリジナルみかん七味が完成。「風布館やインターネットで販売を行い、一部の飲食店にも卸しました。みかんの風味がよく、地場産品としての可能性を感じています。風布館の手打ちうどんにもマッチし、今年のみかんシーズンでもぜひチャレンジしてみたいですね」



オリジナルみかん七味
※現在は販売していません。

動画配信

伊藤さんは令和4年2月に「ぶちゅちゃんねる」を開業。現在日本の動画を公開しています。

「動画配信はやりたかったことの一つ。風布館での活動の様子を中心に、この春には桜を紹介する動画も制作しました。今後、さまざまな分野で活躍する町の方に出演していただき、たくさんの方に寄居町のファンになっていただきたいと思います」

里山の可能性

伊藤さんに里山の魅力、そして可能性について聞きました。

「おじいちゃん、おばあちゃんがとても元気で、声も大きい。無邪気

な先輩といっているのか、いい人生を送っている感じがします。私の活動を気に掛けてくれ、困っていると声を掛けてくれる方もいらっしゃいます。このような、都会にはない『ホッとする』生活は、多くの方を魅了する可能性があると思っています。町の紹介や自分が体験したことを動画にして配信し、多くの寄居町のファンをつくりたいです。もちろん、みかんや名水・日本水などの自然も里山の魅力です。そういった可能性の一つ一つをこれからも探っていきたいと思っています」

寄居町が大好きな地域おこし協力隊の二人は、町の魅力や素晴らしさを多くの方に知ってもらいたいとの熱意を持って町へ移住しました。自身の経験を生かした「地域おこし」に日々挑戦し、町へ大きな風を吹き込んでいます。

町の活性化のために活動を続ける隊員たちの今後の活躍にご期待ください。

さい。



ぶちゅちゃんねる

VOICE /

伊藤さんに聞く！

寄居町の可能性とは？



今年の秋には花園ICのアウトレットモールのオープンが控えています。そういったことも、一つのチャンスとして捉えなければと思います。さらに、一年中桜に出会える町よりい実行委員会の活動は特にすごいと感じています。145品種の桜が、まるで博物館のように見られる町はほかにはありません。また、新井千鶴さんや市川貴仁選手など、スポーツの分野でも可能性を感じます。自分の経験を生かして、小学生や中学生に対してのバスケットボールの指導など、スポーツの分野でも「地域おこし」ができないかと研究しています。